



花みずき

本庄総合病院だより

発行日：平成14年4月15日
 発行者：加部吉男
 編集者：院内広報編集委員会
 後藤利和
第8号
 住所：本庄市北堀1780
 TEL：0495-22-6111

再刊にあたって

この度、患者さんをはじめ職員からの希望もあり病院広報誌『花みずき』が再刊されることになりました。

これから本庄総合病院は本庄市児玉郡の基幹病院となります。救急患者さんの受入れにつきましては体制の強化・充実に努めるとともに患者さんからの要望の強い、人間ドック及び歯科などの整備も図って参りたいと思います。

当院グループには、本庄福島病院、リハビリ専門の伊勢崎福島病院、精神・神経科の上武病院、更に熊谷福島病院、介護老人保健施設彩の苑、本庄ナースング

福島茂夫

ホームがあります。本庄総合病院のスタッフは、加部院長を中心に日大・千葉大・群大・埼玉医大などの医師がMR（磁気共鳴装置）をはじめとする最新の治療機器の整った中で診療にあたっています。平成14年の医療法の改正により、当院は慢性・急性疾患の区分けをし、更にリハビリ診療の拡充に努めます。工事は近日中に着工し、来春には病院北側に立派な内容を備えた病棟が完成します。これを機に職員が更に一丸となり、本庄市児玉郡はもとより近隣地域の医療に邁進して参ります。ご期待下さい。（理事長）

本庄総合病院の増・改修工事に向けて

後藤利和

はなみずきが街を彩る季節となりました。この度、本庄総合病院の増・改修計画案がまとまりましたので、その事のお知らせとともに、増・改修工事にあたりましての皆様のご協力を賜りますようお願い致します。

少子・高齢化をはじめ、社会・経済情勢が大きく変化している昨今、医療をとりまく環境も激変して来ています。そのような中で、平成13年3月1日より施行された第四次医療法改正では、平成15年8月31日までに、整備された、新たな病棟区分（一般病棟か療養病棟か）の届出を行うよう定められております。ちなみにこの改正法の主たるところは病床1床あたりの床面積を広くして、入院環境を改善しなさいということ、患者さんへのサービス向上という面では大変結構な事であり、また同時に一般病棟にするか療養病棟にするかの選択義務も課せられております。つまりこれは国の医療財政逼迫化対策の一環として、急性期の入院医療と慢性期の入院医療をきちんと区別しなさいという事でもあります。果たしてこの事が結果的に患者さんにとってメリットになるか否かは現時点では分かりません。いずれにしても、この

ような第四次医療法改正の規定を受けて、本庄総合病院では施設の増・改修を行う案が検討され、工事の施工が決定されました。具体的には現施設（300床）の病床数を減らし、スペースの広い一般病床として運用するための改修工事を行います。さらに新たに病院北側の現駐車場に3階建ての差分病床数の病棟を増設するという計画です。増築部分の内容は1階が今後のニーズにも対応できるよう、施設基準（総合リハビリテーション施設）の広さを持つリハビリテーション棟に、そして2階、3階部分が療養病棟となる予定です。ちなみに増築部分の工事は平成14年初夏には着工され、平成15年4月の増・改修オープンの予定となっております。

今後とも本庄総合病院が地域の中核病院としての使命を担い、さらなる充実・発展・そして患者さんへのサービスの向上を図っていくためにも、全職員のさらなるご協力をお願い申し上げます。また当院をご利用いただいております患者さんには、工事に伴いまして、多々ご迷惑をおかけする事があるかと思われ、ご理解の上、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。（副院長）

鏡視下手術

小沢直行

これまで手術は、手術する部位を大きく切り開き、手術するための十分な視野とスペースを確保する必要がありました。

ところが最近、手術部位を大きく切り開かず手術を行える鏡視下手術というのが各施設で行われるようになり、われわれの病院でも外科、整形外科、婦人科、泌尿器科など各科で行っております。これは体表に数mm～2cm程度の切開を何カ所かおき、そこからテレビカメラと手術器具を挿入してテレビ画面を見ながら、体の外から手術器具を操作して手術を行う方法です。

この方法は患者さんにとって様々な利点があります。従来の手術のように大きく切り開かないため、手術後のキズの痛みが非常に軽く済みます。さらに、大きく切り開かないことにより、手術による

侵襲（体にかかる負担）も軽く済みます。それらが手術後の早期回復につながり、入院期間の短縮や早期社会復帰が可能となります。またキズ跡の小さく目立ちにくいという利点もあります。（外科医長）

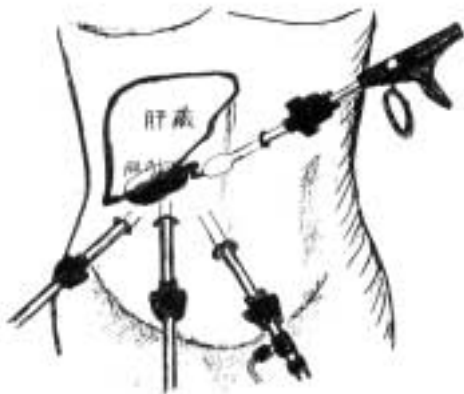


図. 鏡視下胆嚢摘出術
 4カ所の小切開からテレビカメラと手術器具を挿入して手術を行います。

禁煙のすすめ

菊地宏久

<喫煙の健康への影響> 本庄総合病院においても、売店でのタバコ販売取り止めと自動販売機の撤廃を平成14年1月19日より行いました。

タバコの煙には一酸化炭素、種々の発ガン物質、動脈硬化を促進させる物質、その他数多くの有害物質が含まれていることをご存知でしょうか。喫煙により肺ガン、喉頭ガン、膀胱ガンをはじめとする種々のガン、狭心症、心筋梗塞などの循環器疾患、肺気腫、慢性気管支炎、気管支喘息などの呼吸器疾患、胃・十二指腸潰瘍などの消化器疾患、その他種々の疾患リスクが増大します。さらに喫煙には脳萎縮、聴力の低下、骨粗鬆症を促進し老化を早めることも報告されています。また喫煙者の吐き出す煙を間接的に吸う受動喫煙により、能動喫煙と同じように、ガン、循環器疾患、呼吸器疾患などの発症リスクが高くなるとの報告もされています。

<女性・妊婦の喫煙> 女性が喫煙すると不妊症の危険が高まることや閉経が1～2年早まること、また喫煙と経口避妊薬の服用が重なると虚血性心疾患、くも膜下出血を発症するリスクが高まること報告されています。妊婦が喫煙すると妊娠、分娩に種々の影響を及ぼします。なかでも喫煙妊婦からの低出生体重児、早産、周産期死亡、妊娠合併症のリスクが高いことも報告されています。授乳婦が喫煙すると喫煙量に比例して母乳中にニコチンが分泌されることや、乳汁に移行したニコチンにより新生児が不穏、不眠、嘔吐、下痢、頻脈などの中毒症状をおこし、母乳と尿からもニコチンが検出されることが分かっています。

<お願い> このように喫煙は喫煙者本人の問題を超えて公衆衛生上の問題としてとらえるべき状況下にあります。自然環境の破壊という視点から見ると、タバコ産業の陰にはタバコ乾燥剤のための森林伐採や生態系の破壊という地球規模の犠牲が払われています。愛煙家の方々も自分のため、家族のため、周囲の人々のため、ひいては地球環境を破壊しないためにも正しい理解と行動をしていただくことを期待します。

当院においては、今後院内全域を禁煙域とすべきであろうと考えています。

皆様の、ご協力をお願いいたします。
 （内科医長）

タバコのデメリット



リハビリテーションをご存じですか？

当院では、発症直後から在宅に至るまでの流れを考えたりハビリテーションを心掛けております。対象となる疾患は脳卒中、頭部外傷、骨折、脊髄損傷等多岐に渡ります。

理学療法では障害を持った方の身体機能や身体能力を最大限に回復できるよう支援しています。運動療法として、関節可動域の改善や、麻痺の回復を促して歩行や動作を改善します。又、痛みの軽減を図る為に、温熱や低周波等の物理的手段を提供しています。そして、最終的に身の回りのことが自立できるように支援しています。（理学療法士）

作業療法とは、身体や精神に障害のある方に対して、その主体的な生活の獲得を図る為に、諸機能の回復・維持・開発を促す作業活動を用いて行う治療、訓練、指導及び援助をいいます。手指の巧緻性を高める為に革細工や編み物を行ったり、筋力をつける為に重垂バンドやグリップを用いて運動を行います。患者さんの中には視野の半分を認知できなかったり、自分の身体を正しく認識できない、いわゆる高次脳機能障害を合併した方もおり、その様な方には動作訓練や作業活動を用いて改善を図ります。行為やトイレ動作等の日常生活動作を自立させる為の訓練や自助具の作成、福祉機器の購入の助言

等も行っています。（作業療法士）

言語聴覚療法では、コミュニケーションに障害を持つ方や、摂食、嚥下機能に障害を持つ方の機能回復を図っていきます。失語症（言葉が出ない・理解できない・文字の読み書きが出来ない）構音障害（呂律が回らない・発話が不明瞭）に対しては話し言葉の訓練のみではなく、残存能力を活用したコミュニケーションの取り方を工夫していきます。嚥下障害（食事中にむせる、飲み込めない）に対する訓練では、飲み込む力を強化し、摂食時の姿勢等についてアドバイスをしていきます。（言語聴覚士）

来年度中には新しいリハビリテーション室が完成予定です。新しい施設でより充実した技術を提供して頂けます様、スタッフ一同努めて参りたいと思います。



外来看護師の役割

当院の1日の外来数は平均約500名です。そのうちの8割～9割が午前中に来院します。限られた時間に多くの患者さんに対応する外来看護師に求められる役割とは何でしょうか。一口にいえば来院した患者さんがスムーズに診察を受け、必要な治療を効果的に受けられるようにサポートをすることと言えるでしょう。

これまで外来看護師の主な仕事は「診療の補助」と言われてきました。もちろん医師の診察の介助、採血、検査の説明や予約、検査の実施というような仕事が主な業務であることは誰もが認めることです。しかし、外来ナースの意識は、少しずつ変化してきています。私たちは患者さんが来院し診察を受け、帰宅するまでの一連の行動ができるだけ短時間に気持ちよく行えるように「受診の援助」をしているという意識です。そのためには医事課、検査科、放射線科、薬局など他の部門と連携を保つ必要があります。

外来の看護師に求められる能力で最も必要なものは、どんなに外来が混んでいても、緊急で医師の診察を受ける必要のある患者さんがいないか、常に気を配り、優先順位を考えて、的確な判断をし、行

丸山まゆみ

動に移す能力を身につけているかということ。

医師の診察を終えてから、「先生からこう言われたけれど・・・」本音をもらし相談してくる患者さんもいます。そんな時は親身に話を聞くことも大切な仕事の一つです。

あるとき当直をしているナースがこんなことを言っているのを耳にしたことがあります。「当直のときは患者さんと密にかかわれるから看護師としてやりがいを感じる事ができて楽しいの」私たち外来で勤務する看護師は誰もが一一人の患者さんともっとじっくりかかわりたいという願望を持っています。しかし残念ながらそれがかなわない場合があることも認めざるを得ません。そのため来院された患者さんが満足して帰ったかどうかいつも気にかかっています。そんなジレンマがあることもまた事実です。こんなことを思いつつ、私たちは診察室で医師のかたわらに立つ時、自分の視点がどちらの方向を見るべきなのかを常に考えながら毎日の業務を推し進めてゆかなければならないと思っています。（看護部主任）

介護相談室開設のよせて

高橋久美子

高齢化の進展に伴い高齢者介護が大きな社会問題となる折、老人を社会全体で支えようという、新たな社会支援の仕組みとして、平成12年4月1日介護保険制度がスタートしました。本庄総合病院も制度導入と同時に介護相談窓口がオープンとなり、ケアマネージャーである私が介護相談窓口の担当になりました。介護支援専門員に求められているものは大きく、介護サービスを総合的、一体的、効率的

に提供し、介護保険法の理念である利用者本位、自立支援を実現する上で重要な義務を担っています。しかし、大きな期待を担っている介護支援専門員である私がケアマネジメントに習熟しているわけではなく、介護相談窓口開設から今日迄、嵐のような毎日が続いております。相談業務とは常に相手の心理状態に気を配り、一緒に考えて納得、同意出来る結論を導き出すようにしなければなりません。で

天狗岳

永田和子

ひとことに冬山登山とはいえ、さまざまな山がある。北アルプスから八ヶ岳連峰そして谷川岳を代表とする上越の山々。日本列島の背骨にあたり、日本海側と太平洋側の気候を二分する。なかでも冬期、山小屋まで比較的楽にアプローチでき、晴天率の高い八ヶ岳は雪山登山を求め、入山する人が多い山といえる。

北八ヶ岳の主峰、天狗岳への初挑戦は、昨年三月の末であった。おりしも例年になく大雪に見舞われ、積雪は三メートルにも達していた。黒百合ヒュッテまでの山道の、苦汁の感はいなめなかった。

翌朝、晴天に恵まれたが山頂を間近にせまったころ、気候は急変し激しい吹雪が、容赦なく我が身をたたきつけた。やむなくその場にとどまり、足元に目をやると、そこには雪のおりなす砂糖菓子を積み重ねたような芸術品が、瞬時にさいげんなく造られていった。それは今まで見たこともない雪氷の造形だった。ふと我にかえると、トレースは消えていた。恐怖がおそってきた。引き返すしかなかった。

そして今年一月なかば、再挑戦の日。天気予報は晴れだった。

待っていてくれた初老の山小屋の主人、仲間とのすき焼き会の前夜祭を終え翌朝4時、無数の星空のもと、ぼんやりとゆれるヘッドライトのあかりを頼りに山頂へと向かった。

樹氷の森林限界をぬけ白一色の銀世界にでたとき、左手には雲海がひらけオレンジ色の光線が雲間を彩っていた。まもなく日の出である事をつけていた。時計は6時15分。あと30分でご来光である。頂までには、まだ幾つかの雪岩の壁をのりこえなければならない。おもわず右手に持つピッケルに力が入った。刻一刻と変化する情景に気をくばり先につき進んだ。ひとつの雪岩を越えると、次の雪岩が行く手をさえぎった。

あえぎながら、2,646メートルの天狗岳の頂上に達したとき、さんざんと輝く太陽は、はてしなく広がる雲海を黄金に染めていた。朝陽が雲間に隠れた瞬間の静寂、たなびくすじ雲、遙かあなたに浮かぶ御岳の峰。私は祈るような気持ちで手をあわせた。（総務課）



雲海の遙かに浮かぶ御岳の峰
畏敬のこころ我合掌す

すから、いつも真剣に相談業務を行っていきたく思います。

相談業務内容

- 1 介護保険の説明
- 2 介護保険の申請代行
- 3 介護保険認定調査
- 4 ケアプランの作成
- 5 介護給付費管理（レセプト）
- 6 施設入所の援助（連絡、調整）
- 7 地域社会との連携

（看護部主任・ケアマネージャー）

関連病院

本庄福島病院
内科・小児科・療養型 96床
本庄市千代田1-1-18 ☎0495-22-5211

介護老人保健施設 彩の苑
入所定員 100床
本庄市千代田1-1-21 ☎0495-23-3988

伊勢崎福島病院
内科・小児科・外科・整形外科
産科・理学療法科・神経内科 262床
伊勢崎市大手町18-10 ☎0270-24-3456

熊谷福島病院
内科・療養型 93床
熊谷市宮前町1-135-2 ☎048-525-2522

上武病院
精神科・内科 537床
本庄市小島5-6-1 ☎0495-21-0111